

新規事業採択時評価結果（令和2年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

事業の概要

事業名	一般国道180号 岡山西バイパス(西長瀬～檜津)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県岡山市北区西長瀬 至：岡山県岡山市北区檜津	延長	3.5 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道180号は、岡山県岡山市北区から島根県松江市に至る延長約170kmの主要幹線道路である。</p> <p>一般国道180号岡山西バイパス(西長瀬～檜津)は、岡山西バイパスのうち、西長瀬交差点～檜津東交差点を立体化する延長約3.5kmの事業である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>一般国道180号岡山西バイパス(西長瀬～檜津)は、地域高規格道路「岡山環状道路」の一部を形成し、岡山市中心部の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした道路である。</p>					
全体事業費	約330億円	計画交通量	約34,300台/日		
<p>事業概要図</p>					

<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>【岡山市長】 「一般国道180号岡山西バイパス(西長瀬～檜津)」を予算化することについて同意します。 当該区間の整備により、渋滞緩和や事故減少、二次救急医療施設である岡山市立市民病院への救急医療活動の円滑化が期待され、その早期整備は地元の悲願です。 岡山市としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、市が担当する岡山都市圏環状道路整備の加速化および岡山西バイパスに交差する道路の渋滞対策の実施など、国と一体となって岡山都市圏の渋滞緩和に向けた取り組みを推進してまいります。 つきましては、「一般国道180号岡山西バイパス(西長瀬～檜津)」を令和2年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。 なお、並行する現道区間等の今後の管理のあり方については、貴省とともに議論を重ねていきたいと考えております。</p>	
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>学識経験者等の第三者委員会の意見</p> <p>・新規事業化については妥当である。</p>

<p>事業採択の前提条件</p> <p>費用便益：便益が費用を上回る。 手続き等：都市計画決定手続き完了(S54.3)、岡山都市圏渋滞対策検討ワーキンググループにて優先整備区間の選定(R2.2.17)</p>

事業評価結果

費用便益分析	B/C	4.7	総費用	244億円	総便益	1,148億円	基準年	令和元年	
			(事業費：230億円) (維持管理費：14億円)		(走行時間短縮便益：1,010億円) (走行経費減少便益：108億円) (交通事故減少便益：30億円)				
	感度分析の結果		交通量変動	B/C= 4.2 (交通量 -10%)	B/C= 5.3 (交通量 +10%)				
		事業費変動	B/C= 4.3 (事業費 +10%)	B/C= 5.2 (事業費 -10%)					
		事業期間変	B/C= 4.3 (事業期間 +20%)	B/C= 5.2 (事業期間 -20%)					
事業の影響	評価項目	評価	根拠						
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・当該区間では主要渋滞箇所が2箇所存在するなど、慢性的に交通混雑が発生。 ・当該区間の4車線整備(立体化)により、主要渋滞箇所2箇所を回避。 【渋滞損失時間の削減】 現況：106万人時間/年 → 整備後：10万人時間/年 (約9割減少) 【旅行速度の向上】 現況：16km/h → 整備後：60km/h (約44km/h上昇)					
		事故対策	◎	・当該区間の死傷事故率は全国平均の約2.4倍の153件/億台キロと高い状況。 ・当該区間の交通混雑が解消することで、交通混雑に起因する追突事故が減少。事故危険箇所1箇所を回避。 【死傷事故件数の減少】現況：34件/年 → 整備後：23件/年(11件/年〔約3割減少〕) 【死傷事故率の減少】現況：153.1件/億台キロ → 整備後：50.6件/億台キロ(約7割減少)					
		歩行空間	—	注目すべき影響はない					
社会全体への影響	住民生活	◎	・岡山西消防署管内における緊急搬送の約6割を岡山市立市民病院(第二次救急医療施設)と岡山済生会総合病院(第二次救急医療施設)で担っているが、主要な搬送ルートである岡山西バイパスの交通混雑の影響を受ける等、救急搬送に支障。 ・当該区間の交通混雑が解消することにより、第二次救急医療施設への搬送時間が短縮し、救急医療活動の円滑化に寄与。 【吉備中央町から市立市民病院への搬送時間】 現況：51分 → 整備後：43分(約8分短縮)						
	地域経済	—	注目すべき影響はない						
	災害	—	注目すべき影響はない						
	環境	—	注目すべき影響はない						
	地域社会	—	注目すべき影響はない						
事業実施環境	○	・都市計画決定手続き完了(S54.3) ・岡山県知事等より早期事業化を要望							

<p>採択の理由</p> <p>費用便益比が4.7と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。 また、当該区間の整備により交通の円滑化、交通安全の確保、救急医療の円滑化が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。</p>

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。